

23区初 俳句教育 全小中学校で実施



専門講師
を派遣

見て触れて 感じて表現 楽しいな!

▲クラスのみinnで俳句を作ったよ! (授業後、八名川小学校で)



▲校庭や近くの公園へ行って草や葉を観察(八名川小学校)



▲作った俳句をみんなで講評(臨海小学校)

江東区は、松尾芭蕉が深川芭蕉庵で多数の名句を残し、現代俳句に大きな足跡を記した石田波郷が砂町(現在の北砂2丁目)に居住するなど、歴史的に俳句と深い縁があります。区では、この特色を生かして「すべてのこどもたちが俳句に親しむまち」を目指し、「ことう学びスタンダード(国語)」に俳句教育の実施を位置づけ、すべての児童・生徒が授業やさまざまな機会に俳句に取り組めるようにしています。

区では、専門の講師を派遣して俳句授業の充実を図るなど、今年度から全小中学校で俳句教育を推進しています。すべてのこどもたちが、教室や屋外で「見て・聞いて・触れて・感じた」さまざまな物事を、思い思いに俳句にすることで、楽しみながら表現力や感性を磨いています。

著名な俳人と縁の深い本区
の特色を生かした俳句教育

俳句づくりで
自信がいったよ!

俳句は、日常の何気ない観察や思いなどを五・七・五の計十七音で気軽に表現できるので、作文が苦手なこどもでも楽しみながら作ることができます。区では俳句教育を通じて、言語力・表現力・感性を育て、人にも自然にも優しくできる心を培うことを目指しています。

俳句づくりの授業では、「自分の俳句が友達や先生から褒められて自信になったよ!」と、こどもたちもみな満面の笑顔をみせていました。

著名な俳人らが指導!
 中学校俳句部

区立中学校では、部活動としても俳句活動が行われています。俳句部は、平成23年度に深川第七中学校を拠点として、各中

俳句部の皆さんの作品 左: 蒲池英朗くん、右: 武田亜也さん(ともに深川第七中学校)



いご勝負
 蝉と網との
 一騎打ち

制服の
 どちらが涼し
 紺と白

真夏に吟行中、「自分のベスト(紺)と友達(白)どっちが涼しげかな」と思って詠みました。



区では今後、すべての児童・生徒が作った俳句の中から、優秀な作品を収めた俳句集の作成を予定しています。

さらに、日ごろの学習成果の発表の場として、平成27年2月21日(土)に、区主催の俳句大会を行うなど、さらなる俳句教育の普及に努めていきます。

☎(3647)9307

優秀作品の俳句集を作成
 俳句大会を実施

校から参加した生徒で結成されました。現在11人の部員が在籍し、毎月1回、俳誌編集者や大学教授、著名な俳人や詩人などを講師に招き、吟行や句会などを行っています。

※江東区立中学校に在籍する生徒は随時入部が可能です。